

MINATO BANK 2012



みなと銀行ミニディスクロージャー誌

第13期 営業のご報告 平成23年4月1日～平成24年3月31日

想いを、まちへ。

地域のみなさまとともに歩みます

～金融・情報サービスの提供を通じて、地域に貢献します～

みなと銀行概要

(平成24年3月31日現在)

名 称	株式会社 みなと銀行 The Minato Bank, Ltd.
本店所在地	〒651-0193 神戸市中央区三宮町2丁目1番1号
電話番号	078-331-8141 (代表)
設 立	昭和24年9月
沿革	昭和24年 9月 七福相互無尽株式会社設立 昭和26年10月 相互銀行業免許取得、株式会社七福相互銀行に商号変更 昭和41年10月 株式会社阪神相互銀行に商号変更 昭和47年 9月 大阪証券取引所市場第二部へ上場 昭和48年 8月 同市場第一部へ上場 平成元年 2月 普通銀行に転換し、株式会社阪神銀行に商号変更 平成元年12月 東京証券取引所市場第一部へ上場 平成11年 4月 株式会社みどり銀行と合併、株式会社みなと銀行に商号変更 平成12年 7月 株式会社さくら銀行(現・株式会社三井住友銀行)の 当行株式公開買付(TOB)により、同行の連結子会社化 平成21年 4月 株式会社みなと銀行設立10周年
資 本 金	274億円
従 業 員 数	2,108人
店 舗 数	107カ店 (兵庫県:102カ店 大阪府:4カ店 東京都:1カ店)
発行済株式総数	410,940千株
上 場 取 引 所	東京証券取引所、大阪証券取引所 (共に市場第一部)
株 主 数	9,168人
自己資本比率(国内基準)	単体 10.27% 連結 10.42%
格 付 け	長期優先債務格付け「A-」(株式会社 日本格付研究所[JCR]) 長期預金格付け「A2」(ムーディーズ・ジャパン株式会社)
総 資 産	3兆 789億円
預 金	2兆7,737億円
貸 出 金	2兆1,884億円

Contents

経営理念、みなと銀行概要	1
ごあいさつ	2
中期経営計画	3
経営の健全性	4
業績ダイジェスト[単体]	5
金融円滑化への取組	8
地域密着型金融の取組	8
地域のお客さまへ	
法人のお客さまへ	9
個人のお客さまへ	10
利便性向上への取組	12
お客さま満足度向上への取組	14
環境配慮型金融商品の取扱	14
社会貢献活動	15
個別・連結財務諸表	16
株式	17
株主優待制度	18
役員一覧・主要な連結子会社	18
店舗MAP	



ごあいさつ

皆さまには、平素よりみなと銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

このたび当行では、ミニディスクロージャー誌「MINATO BANK 2012」を作成いたしました。本冊子は、当行のさまざまな取組みや平成24年3月期決算の概要等についてまとめております。皆さまにおかれましては、ご高覧いただき、当行に対するご理解をさらに深めていただければ幸いに存じます。

ご承知のとおり、わが国経済は、欧州債務危機の深刻化やタイ洪水被害、急速な円高進行などの影響も受け、昨年秋口ごろから、東日本大震災による打撃からの回復テンポは緩まりましたが、その後、年度末にかけて再び持ち直しに向かう動きとなりました。

しかしながら、欧州債務問題をはじめとする世界経済を巡る不確実性や、また関西地域における電力供給不足懸念など、私たちを取り巻く環境は、依然として先行き不透明な状況にあり、多くの対処すべき課題に直面しております。

このように激変する環境の中、当行は昨年度より、中期経営計画『みなと「3S」Up(スリーエス・アップ)』(平成23年度～25年度)をスタートさせました。初年度となる23年度につきましては、当期純利益(単体)が64億円と、おかげさまで中期経営計画の目標水準を確保することができました。これも、お客さま、株主の皆さま、地域の皆さまのご支援あつてのことであり、改めて御礼申し上げます。

多くの対処すべき課題に加え、高齢化、IT化、そして企業のアジア進出もますます加速する状況のもと、当行では、引き続き「地域からの信頼を得て、地域での存在価値を高めていく」ための諸施策をスピード感を持って実施してまいります。

みなと銀行は、これら諸施策の遂行を通じて、三井住友銀行グループの地域金融機関として、地域経済の一層の発展に貢献していきたいと考えております。

皆さまにおかれましては、なお一層のご厚情とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



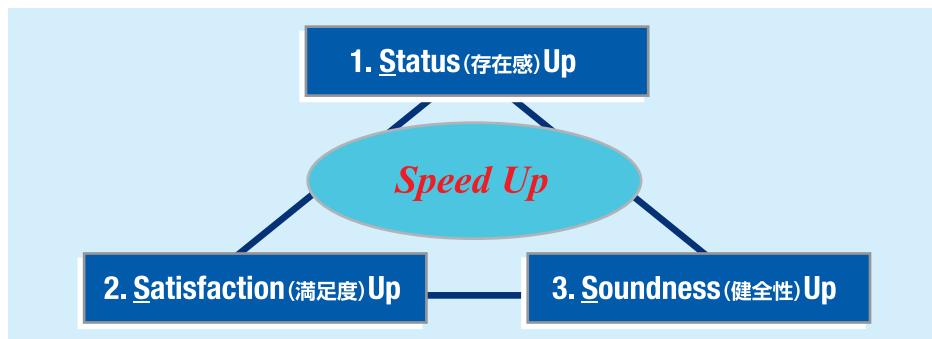
取締役頭取

尾野俊二

平成24年6月

スローガン

みなと「3S」Up(スリーエス・アップ)



高齢化・IT化及び企業のアジア進出が加速する環境の下、
 当行の『存在感を高める(Status Up)』ための諸施策をスピード感を持って取り組むステージと位置づけ、
 その構成要素である「Satisfaction(満足度)Up」と「Soundness(健全性)Up」を合わせた
 『みなと「3S」Up(スリーエス・アップ)』をスローガンに掲げ、『信頼される地域のコアバンク』を目指します。

期間

平成23年4月1日～平成26年3月31日(3年間)

基本方針

目標	主要施策
1. Status (存在感) Up	(1) コンサルティング機能の強化 (2) 商品・サービスの拡充 (3) ネットワークの再構築
2. Satisfaction(満足度)Up	(1) CS ～お客さま満足度の向上～ (2) ES ～誇りの持てる職場づくり～
3. Soundness (健全性) Up	(1) コンプライアンス (2) 財務・自己資本 (3) 効率性・BPR (4) リスクマネジメント (5) ALM運営

主要指標

	計画	実績
	平成25年度	平成23年度
当期純利益	180億円以上 [3年間累計]	64億円
OHR ^{※1}	65.0%程度	67.0%
Tier I 比率(連結) ^{※2}	8.0%程度	7.3%

※1 OHR＝経費÷業務粗利益 ※2 Tier I 比率(バーゼル II ベース)は、資本政策等を考慮しておりません。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。
 こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。
 将来の業績は、経営環境の変化に伴い、目標対比変化しうることにご留意下さい。

経営の健全性

基準を大きく上回る自己資本比率

自己資本比率は、連結:10.42%(前期末比△0.98%)、単体:10.27%(同△1.08%)となりました。

国内基準適用行である当行に求められている4%を大きく上回っています。

自己資本比率(国内基準)



用語
解説

自己資本比率

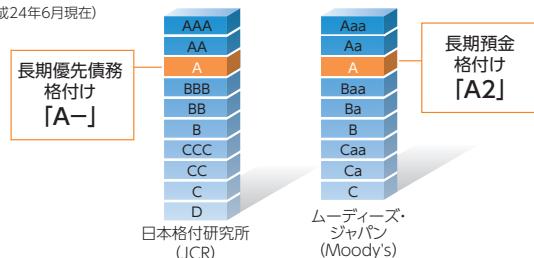
銀行の健全性・安全性を示す指標のひとつで、海外に支店を持たない銀行は、国内基準で4%以上を確保することが求められています。

格付けは高い評価

株式会社日本格付研究所(JCR)から、長期優先債務格付け「A-」、ムーディーズ・ジャパン株式会社(Moody's)から、長期預金格付け「A2」を取得しています。

格付け

(平成24年6月現在)



用語
解説

格付け

企業が発行する債券や預金等の元金金が約束通りに支払われる確実性の度合いを、中立的な第三者である格付機関が簡潔な記号で表したものです。

資産の健全性

資産内容の健全性向上を図るため、不良債権処理を進める一方で、お取引先の経営改善支援にも積極的に取り組んできましたが、金融再生法に基づく開示債権額は、前期末比119億円増加し、808億円となりました。これにより、開示債権比率(総与信に占める開示債権額の比率)は前期末比0.54%上昇し、3.62%となりました。

尚、開示債権については85.16%が担保・保証等及び引当金により保全されています。

金融再生法に基づく開示債権額の推移



引当・保全状況 (平成24年3月末)

単位: 億円

	債権額 (A)		担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率 (B+C)/A
	金額	構成比			
計	808	3.62%	479	209	85.16%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	216	0.97%	123	93	100.00%
危険債権	492	2.21%	322	95	84.88%
要管理債権	100	0.45%	34	20	54.50%
正常債権	21,482	96.37%			
合計	22,291	100.00%			

用語
解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

要管理債権

3ヵ月以上延滞債権と貸出条件緩和債権です。(但し、破産更生債権及びこれらに準ずる債権・危険債権は除く)

業績ダイジェスト[単体]

当期純利益は過去最高益であった 23年3月期に次ぐ水準を確保

業務純益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したものの、一般貸倒引当金取崩額や債券関係損益が増加したことなどから、前期比2億円増え、201億円となりました。

一方、当期純利益は、前期比12億円の減益とはなりませんが、64億円と、過去最高であった23年3月期に次ぐ水準を確保しました。

用語
解説

業務純益

業務粗利益から一般貸倒引当金繰入額と経費を差し引いた収益で、銀行の本来業務による収益を示し、一般企業の営業利益に相当する部分です。

預金残高はみなと銀行発足以降最高に

個人預金を中心に順調に増加したことにより、前期末比721億円増加し、2兆7,737億円となりました。

みなと銀行発足以降の最高残高です。

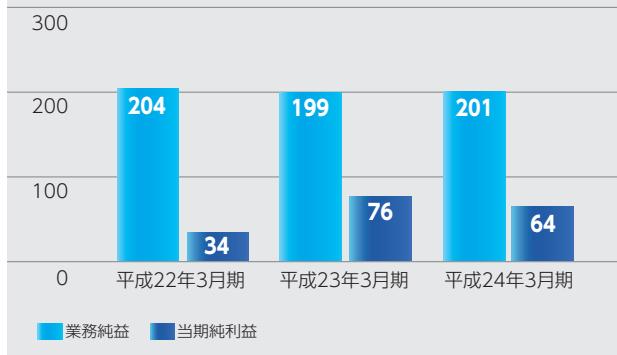
預り資産残高は2年連続3兆円超で推移

お客さまの多様な資産運用ニーズに積極的に対応した結果、預金・投資信託・個人年金資産の合計残高は、前期末比700億円増加し、3兆1,168億円となり、2年連続3兆円超で推移しています。

とりわけ、投資信託は、第二地方銀行でトップクラスです。

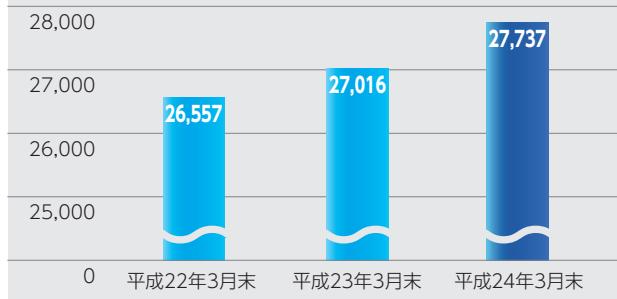
業務純益と当期純利益の推移

単位：億円



預金残高の推移

単位：億円



預り資産残高の推移

単位：億円



中小企業や個人のお客さまへの 貸出金は全体の8割

お客さま別貸出金は、中小企業のお客さまへ1兆1,470億円(貸出金全体に占める割合52.4%)、個人のお客さまへ6,450億円(同29.5%)、その他のお客さまへ3,964億円(同18.1%)となりました。中小企業・個人のお客さま合計では1兆7,920億円、全体の81.9%を占めています。

中小企業や個人のお客さまの資金ニーズにお応えします。

地元兵庫県の貸出金シェアも8割

地域別貸出金は、兵庫県が1兆7,185億円と貸出金全体の78.5%を占めています。その他の地域では、大阪府2,331億円(同10.7%)、東京都2,367億円(同10.8%)となりました。

地域の皆さまへ安定的な資金供給を行っています。

住宅ローン残高は過去最高を更新中

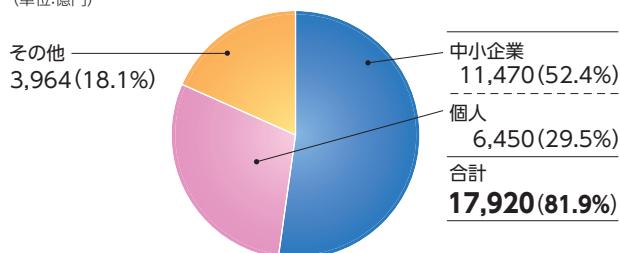
住宅ローン残高は、前期末比191億円増加し、7,780億円となりました。

みなと銀行発足以降、最高残高を更新中です。

お客さま別貸出金残高

(単位:億円)

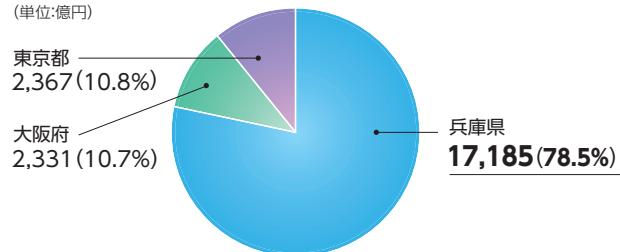
(平成24年3月末)



地域別貸出金残高

(単位:億円)

(平成24年3月末)



住宅ローン残高の推移

単位:億円



業績ダイジェスト[単体]

お客様の貿易取引を積極的にサポート

平成24年3月期の貿易為替取扱高は、前期比65百万ドル増加し、1,505百万ドルと過去最高を更新しました。

第二地方銀行では、トップクラスの取扱高です。

貿易為替取扱高の推移

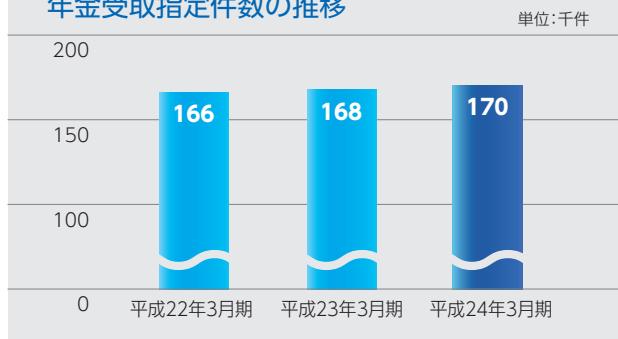


年金受取指定件数は順調に増加

年金受取指定件数は、前期末比2千件増加し、170千件となり、順調に増加しています。

シニア世代のお客様に暮らしのメインバンクとしてご利用いただいています。

年金受取指定件数の推移



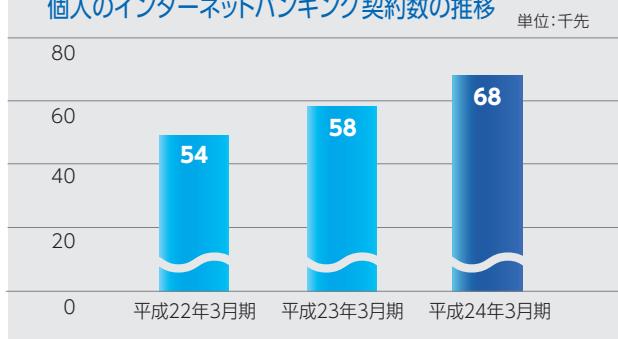
個人のお客様のインターネットバンキングのご利用は着実に増加

個人向けインターネットバンキングの契約数は、着実に増加しており、前期末比10千先増の68千先となりました。

また、平成24年2月より取扱いを開始したインターネット投信の契約数は2千先となりました。

今後もより一層お客様のお役に立ちますよう、使いやすく便利なサービスの充実に努めてまいります。

個人のインターネットバンキング契約数の推移



中小企業や個人事業主のお客さま及び住宅ローンをご利用の個人のお客さまの様々なご相談等に、よりきめ細かく、かつ、より迅速・的確にお応えするため、全支店に「金融円滑化推進責任者」・「融資ご返済相談担当者」を配置しているほか、ご返済条件の変更等に関わる苦情相談専用の窓口(「金融円滑化苦情相談」専用ダイヤル)を設置しております。

ご返済条件の変更などに関するフリーダイヤル

●「金融円滑化苦情相談」専用ダイヤル

ご返済条件の変更などに関わる苦情相談専用のフリーダイヤルです。

受付日	相談受付時間	フリーダイヤル
平日	9:00~17:00	0120-033-727
土曜・日曜・祝日	休業	

●「中小企業のお取引先の貸出ご返済に関するご相談」

専用のフリーダイヤルはございません。

お取引店の担当者、または、お取引店の「融資ご返済相談担当者」までご連絡ください。

●「住宅ローン等のご返済に関するご相談」専用フリーダイヤル

受付日	相談受付時間	フリーダイヤル
平日	9:00~17:00	0120-623-710
土曜・日曜	10:00~17:00	0120-073-710
祝日	休業(但し、土曜・日曜と重なる日は営業します)	

貸付条件変更等の状況 (平成24年3月末基準) (単位:件、百万円)

	合計		中小企業		住宅ローン	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
条件変更等の申込を受けた貸付債権	17,448	547,623	16,115	525,380	1,333	22,243
実行に係る貸付債権	15,524	491,714	14,547	475,262	977	16,451
謝絶に係る貸付債権	661	26,459	566	24,874	95	1,585
審査中の貸付債権	516	13,450	493	12,910	23	540
取下げに係る貸付債権	747	15,999	509	12,333	238	3,666

※「謝絶に係る債権」には、24年3月末時点で申出から「3ヵ月起」となった審査中の貸付債権(555件、22,134百万円)が含まれています。

みなと銀行では、地域金融機関として、地域密着型金融を銀行全体で継続的に推進しております。

推進にあたっては、

- 中小企業金融の円滑化、
- お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、
- 地域の面的再生への積極的な参画、
- 地域やご利用者の方々への積極的な情報発信

などの観点から本支店一丸となって取り組んでおります。

また、地域密着型金融の推進をより充実させるため、経営陣も参加する「地域密着型金融推進委員会」「金融円滑化推進委員会」を本部内に設置しております。

平成23年度 地域密着型金融の主な取組施策

- 経営サポート室の体制・活動の強化
- 「みなとアジアサークル」の発足
- ビジネスマッチングフェアの開催
- 「あわじ環境未来島特区」の中核事業「住民出資型太陽光発電方策検討会」等への参画
- 地域のお客さま向け「でんさいネットセミナー」の開催
- 地域の医療法人向け「医療・介護セミナー」の実施
- 「みなと就職イベント in HYOGO」の開催
- 「日中ものづくり商談会@上海2011」への参画

他

地域のお客さまへ

法人のお客さまへ

ビジネスマッチング

新たな販売先や仕入先の紹介、新製品開発や事業多角化に際してのパートナー企業の紹介等、お客さまのあらゆる事業ニーズに適したお取引先を紹介するビジネスマッチングサービスを積極的に展開しています。

みなと元気メッセ

平成23年9月、ビジネスマッチング・チャンス創出を目的として「みなと元気メッセ2011」*を開催し、21社のお取引先に出展いただきました。

出展内容は、新産業創造の基盤となる「ものづくり」技術をはじめ、「環境・エネルギー」、「食の安全・健康」等、タイムリーで大きな成長が期待できる分野を中心に構成されています。

当日は、多数の来場者と出展者の有意義な交流が図られるなど、ビジネスチャンス拡大のお手伝いをさせていただいています。

24年の「みなと元気メッセ2012」は、9月6日、7日を予定しています。

*産業総合見本市「国際フロンティア産業メッセ2011」
(構成団体：兵庫県、神戸市等)
と同時開催



コンサルティング業務

平成23年5月から9月にかけて、経営の次世代を担う事業後継者の方と若手経営者の方を対象としたビジネススクール「みなとマネジメントスクール2011」(全5回)を実施しました。

本スクールは、神戸大学等のご協力を得て、参加者の方に経営に関する実践的な知識を習得していただくことを目的としています。

21年の開講以降、毎年実施し、今回参加の24名を含め、74名が受講されています。

24年は、6月～9月にかけて計4回開講予定です。

事業承継コンサルティング業務

事業承継コンサルティング業務

多くの経営者の皆さまが経営の最重要課題の1つと考えておられる事業承継について、それぞれのお客さまの実情やニーズ・課題に合わせた解決策をご提案します。

平成20年6月の業務開始以降、約350件のご相談をお受けし、24年には、専担者を増員して対応しています。

主なご相談内容

- 後継者様への株式承継について
- 分散した株式の集約について
- 事業承継と個人の相続を合わせたご相談
- M&Aに関するご相談

資本政策支援への取組

「みなとビジネスリレーファンド」

平成23年5月、みなと銀行と関係会社のみなとキャピタル(株)との共同出資で、事業承継、事業再生支援を目的としたファンド「みなとビジネスリレーファンド」の出資総額の枠を20億円に倍増いたしました。

Topics

「みなとエクイティサポートファンド」の設立

平成23年5月、みなと銀行と関係会社のみなとキャピタル(株)との共同出資で一定の事業基盤を有する企業さまの資本増強や資本構成の見直し支援等を目的とした「みなとエクイティサポートファンド」(出資総額5億円)を設立しました。

アジアビジネスサポート

「みなとアジアビジネスサポートローン」

アジア諸国の高成長や円高の長期化を背景に当面拡大が予想される同地域への進出ニーズに対応するため、「みなとアジアビジネスサポートローン」の取扱いを開始しました。

「日中ものづくり商談会@上海2011」

平成23年9月、中国・上海において、みなと銀行のほか全国の地方銀行など合計34団体の共催で、製造業を対象としたお取引企業向けの商談会「日中ものづくり商談会@上海2011」を開催しました。

上海における商談会の開催は、20年以降4回目となり、今回はみなと銀行のお取引先から19社が出席されました。

24年は9月12日、13日に開催の予定です。



中国・アジアビジネスセミナー

平成23年度、兵庫県下の地元商工会議所等との共催により中国・アジアビジネスセミナーを3回開催しました。中国を中心としたアジア諸国の現地情報や進出に成功した日本企業の事例などを紹介し、のべ150名の方にご参加いただきました。

「アジア室通信」

平成23年6月よりアジア地域の情報をタイムリーかつ定期的にお伝えするため、月刊情報誌「アジア室通信」を月1回発行しています。みなと銀行ホームページやみなとビジネスネット等で、ご覧いただけます。

「みなとアジアサークル」

平成23年11月、お客さまのアジアビジネス機会の拡充・情報交換を主目的として無料の会員制組織「みなとアジアサークル」を発足しました。24年2月の発足式には、会員のほか、地方自治体、アジアからの留学生などが合計100名にご参加いただきました。



個人のお客さまへ

資産運用セミナー等の開催

資産運用に関して、初心者の方から投資経験が豊富な方まで、より一層のご理解をいただくため、個人のお客さまを対象に、投資信託等の資産運用、年金、相続・資産継承等のセミナー・相談会を様々なテーマで各店舗にて随時開催しています。

平成23年度の開催状況は以下のとおりです。

セミナー等名称	大規模セミナー	資産運用セミナー (うち相談セミナー 69回開催 参加者:のべ932人)	年金相談会
開催参加状況	2回開催 参加者:のべ1,473人	620回開催 参加者:のべ6,618人	245回開催 参加者:のべ1,237人
講師等	投信会社	証券・保険会社 本部専門スタッフ	社会保険労務士 本部専門スタッフ
実施概要等	投資信託 運用報告会	最近の 投資環境等につ いて	公的年金の 請求の仕方、 受給方法等



資産運用セミナー

地域のお客さまへ

個人のお客さまへ

相続関連相談業務の拡充

お客さまの相続における相談機能の強化を図るため、株式会社朝日信託と業務提携しています。

三宮コンサルティングプラザにおいて、同信託の弁護士・税理士による遺言信託、遺産整理、資産承継プランニング等に関する法律・税務相談会を実施しています。

シニア世代のお客さまへのサポートとして、一層のサービスの充実を図ってまいります。

平成23年度
相談件数
355件

平成24年6月 「〈みなと〉ウェルカムキャンペーン」の実施

円定期預金、投資信託、外貨定期預金のキャンペーンを実施しています。

キャンペーン期間：平成24年6月1日～8月31日

平成24年5月 マイカーローンの金利引下げ キャンペーン期間を延長

ご好評につき、マイカーローンの金利引下げをご利用いただけるキャンペーン期間（[仮]申込み受付期間）を平成24年5月31日までから平成24年7月31日までに延長しました。（ご融資も平成24年8月31日までに延長）

キャンペーン期間：
平成23年11月1日～平成24年7月31日

平成23年10月、「みなとプレミアムカード （クレジット一体型ICキャッシュカード）」の取扱開始

平成23年10月、キャッシュカードとクレジットカードをひとつにした「みなとプレミアムカード（クレジット一体型ICキャッシュカード）」の取扱いを開始しました。

このカード1枚で、「〈みなと〉プレミアム普通預金」の優遇特典やポイントサービスと、「みなと銀VISAカード」に付帯した様々な特典を同時にご利用できます。また、「〈みなと〉プレミアム普通預金」のプレミアムポイントを「みなと銀VISAカード」のワールドプレゼントのポイントに移行できるようになりました。

さらに、お客さまのご希望により、スルッとKANSAIのIC乗車券「PiTaPa」とイオングループの電子マネー「WAON」を追加カードとしてお選びいただけます。

Topics

商品ラインナップの拡充

■平成23年11月

投資信託「フォーシーズン」
投資信託「野村インド債券ファンド（毎月分配型）」
医療保険「やさしくそなえる医療保険」を取扱開始

■平成23年12月

投資信託「米国ハイイールド債券ファンド [円コース・米ドルコース・豪ドルコース・南アフリカランドコース・ブラジルリアルコース]」を取扱開始

※平成24年4月末現在、投資信託は62商品、
生命保険代理店業務では21商品のお取扱いをしております。

利便性向上への取組

ネットワークの充実

店舗ネットワークの充実

平成24年4月、西明石支店が移転オープンしました。移転により、店舗面積を拡大し全自動貸金庫の完備やセミナー室の設置など、地域の主要拠点としての店舗機能を充実、バリアフリー対応や、太陽光発電設備を設置するなど環境にも配慮した設備としています。

また、本山支店は店舗建替え工事を行うため、24年5月より仮店舗へ移転し営業しています。新店舗は、25年春頃に日本山支店跡地にて開店する予定です。

西明石支店



明石市和坂13-5
(旧明石支店より北東へ約150m)
(JR西明石駅東口北側)

TEL:078-927-2895

- 3階建 延約385坪
- 全自動貸金庫 500個
- ATM 5台
- 提携駐車場あり

本山支店(仮店舗)



神戸市東灘区岡本1-4-15
(旧本山支店より西へ約70m)
(JR摂津本山駅北西150m)

TEL:078-451-4381

- ATM 5台
 - 提携駐車場あり
- ※新店舗では全自動貸金庫を導入予定

ATMネットワークの拡充

お客さまの利便性向上を図るため、ATM提携サービスを拡充しています。

みなと銀行では、三井住友銀行とのATM相互開放(他行利用手数料の無料化)を実施しています。

また、セブン銀行ATM、ローソンATM、ファミリーマートなどに設置されているイーネットATM、並びにイオングループに設置されているイオン銀行ATM等で、ご出金やご入金いただけます。

コンビニATMなどのご利用にあたって、右表の通り当行所定の手数料が必要となりますが、(みなと)プレミアム普通預金口座で当行所定のお取引条件を満たされている場合は、平日8:45~18:00は手数料無料、それ以外の時間帯は105円割引になります。

	出金	入金	カード 振込	入出金手数料	
				時間内	時間外
三井住友銀行(アットバンク含む)	○	×	○	無料	105円
セブン銀行ATM	○	○	×	105円	210円
ローソンATM、イーネットATM	○	○	×	105円	210円
上記以外のコンビニATM	○	×	×	105円	210円
ゆうちょ銀行	○	○	×	105円	210円
イオン銀行	○	○	○	105円	210円

- (注) 1.ご利用の金融機関により営業時間、手数料、利用金額などが異なります。
2.セブン銀行ATMマーク、ローソンATMマーク、イーネットATMマークのないコンビニATMでは手数料等サービス内容が異なります。
3.福岡県内に設置しているアットバンクの出金手数料は時間内105円、時間外210円となります。

休日営業店舗の充実

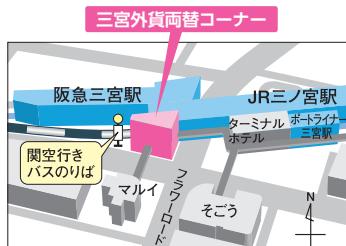
住宅ローン・資産運用休日相談会の開催

一部の営業店では、住宅ローンや資産運用の相談会を日曜日に開催しており、ゆっくりご相談いただけます。

※開催店舗・日時など詳しくは、みなと銀行ホームページ(<http://www.minatobk.co.jp>)をご覧ください。

三宮外貨両替コーナーの休日営業

休日にも便利にご利用いただける三宮駅前「神戸交通センタービル」2階で「三宮外貨両替コーナー」を営業しています。
(営業時間(休日・平日とも)
11:00-19:00)



住宅ローンプラザの休日営業

平日はお仕事でご来店がむずかしい方にもご相談いただけるよう、平日以外に土曜日2カ所、日曜日9カ所の住宅ローンプラザを営業しています。

営業時間	10:00~17:00	土曜日	日曜日
三宮住宅ローンプラザ(三宮センタープラザ東館西端2階)	TEL.078-332-6650	○	○
西宮住宅ローンプラザ(みなと銀行西宮支店2階)	TEL.0798-32-6777	-	○
塚口住宅ローンプラザ(塚口さんさんタウン2番館3階)	TEL.06-6427-8535	-	○
藤原台住宅ローンプラザ(みなと銀行藤原台支店1階)	TEL.078-987-3350	-	○
舞子住宅ローンプラザ(みなと銀行舞子支店2階)	TEL.078-782-4561	-	○
西神住宅ローンプラザ(みなと銀行西神ビル1階)	TEL.078-991-9933	-	○
西明石住宅ローンプラザ(みなと銀行西明石支店3階)	TEL.078-927-3062	-	○
加古川住宅ローンプラザ(みなと銀行加古川支店2階)	TEL.079-423-0248	-	○
姫路住宅ローンプラザ(みなと銀行姫路中央支店内)	TEL.079-288-2277	-	○
梅田住宅ローンプラザ(みなと梅田ビル10階)	TEL.06-6361-3641	○	-

地域のお客さまへ

利便性向上への取組

ダイレクト・チャネルの取組

- 平成23年8月、ホームページを全面リニューアルしました。リニューアル後は、
 - 1 キャンペーン等の情報をフラッシュ画像やテロップ、メールニュースでタイムリーにお知らせしています。
 - 2 資料請求、各種お問い合わせ・ご相談、セミナー等への参加のお申込み等がWEB上で可能になりました。
 - 3 店舗やATMは、取扱商品やサービス、設備等でも検索できるようになりました。また、画像や写真などを効果的に使用し、見やすくご理解いただきやすいデザインへ一新しました。
- 24年2月6日よりインターネット経由で投資信託をお取引いただけるみなとインターネット《投信》を開始いたしました。



個人のお客さま

●みなとモバイル・みなとインターネット

携帯電話・インターネットから残高照会、最長1年間の入出金明細照会、振込・振替をはじめ、税金・各種料金の払込などがご利用いただけます。インターネットでは定期預金の預入・払出、住所変更等もご利用いただけます。

	平日	土日祝
リアルタイム照会 (残高照会・当日の入出金明細照会)	8:00~21:00	9:00~17:00
前営業日迄の照会	24時間	24時間
当日振込	8:00~15:00	—
振込振替予約	24時間	24時間

みなと銀行EB照会センター
(平日9:00~21:00、土日祝日9:00~17:00) ☎0120-53-3710

●海岸通支店

海岸通支店は、電話やインターネットで、特別金利定期預金をご利用いただくための専用支店です。

みなと銀行海岸通支店
(平日9:00~17:00)
☎0120-037120



法人のお客さま

●みなとビジネスWeb

インターネットから残高照会、最長1年間の入出金明細照会、振込・振替、税金・各種料金の払込に加え、総合振込・給与振込、代金回収サービスなど多様なサービスをご利用いただけます。新たな機器や専用ソフトの購入は不要です。振込手数料も窓口より1件当たり105円~420円(税込)お安くなっています。

みなとビジネスWebヘルプデスク ☎0120-45-5072
(平日9:00~18:00)

●みなと外国為替WEB

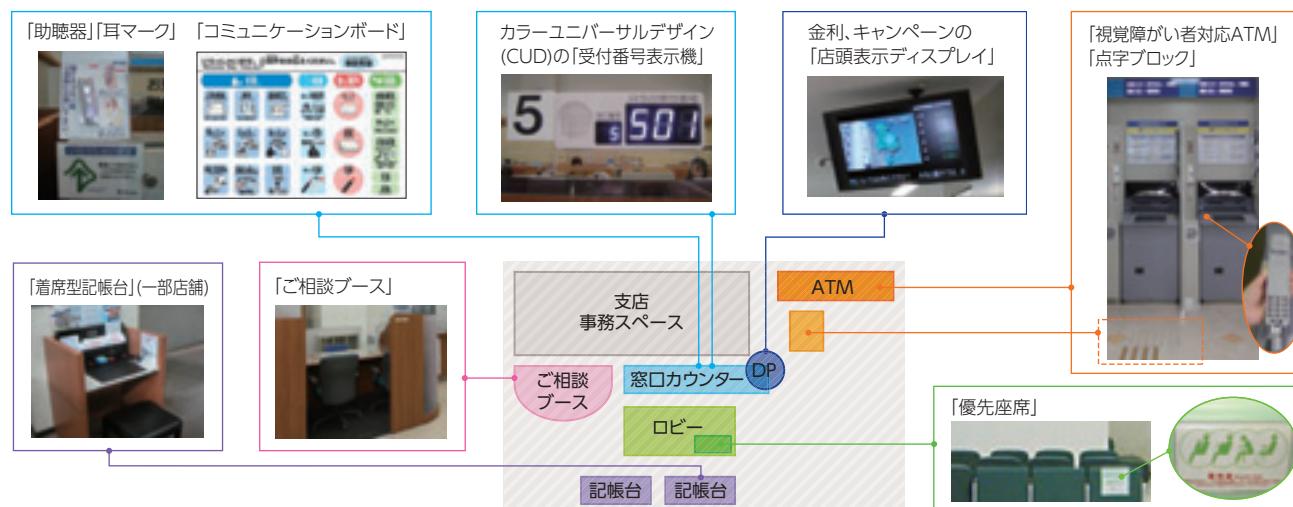
平成24年2月、外国為替WEBの機能を拡充しました。従来のインターネットからの外国仕向送金、輸入信用状の開設と条件変更のお申込に加え、外貨預金の振替・入出金明細照会や各取引の計算書照会などがご利用いただけるようになりました。

みなと外国為替WEBサポートデスク
(平日9:00~17:00)
☎0120-737-127



お客さま満足度向上への取組

お客さまが安心してご利用いただける店づくり



環境配慮型金融商品の取扱

環境認証取得の法人向け「みなとエコローン」

以下のいずれかの環境認証を取得した法人のお客さまに対し、貸出金利を優遇します。

- *1
- ①「神戸環境マネジメントシステム (KEMS)」
 - ②「エコアクション21」
 - ③「ISO14001」

個人向け「みなとエコ住宅ローン」 「みなとエコ商品購入ローン」

新エネ・省エネ機器*2を備えた住宅およびCASBEE神戸 (神戸市建築物総合環境評価制度)の総合評価があじさいの花4つ以上の住宅を購入・建築されるお客さま又はそれらの機器を購入・設置されるお客さまに対し、貸出金利の引下げ等を行います。

*2 太陽光発電システム、エコウィル、エコキュート、太陽熱高度利用システム、エネファーム

「みなとエコ私募債」

みなと銀行が定める銀行保証付私募債の発行基準を充足され、左記*1のいずれかの環境認証を取得されている企業に対して、私募債発行の手数料等を優遇します。

カーボンオフセット定期預金 「みなとエコ物語」取扱再開 (平成24年5月)

平成22年3月から9月まで期間限定で、森林カーボンオフセットサービスを利用した預金商品を金融機関として初めて取扱いましたが、取扱終了後も、多くのお客さまから賛同のお声をいただき、再開の運びとなりました。

森林カーボンオフセットサービス利用料としてみなと銀行が拠出する資金は、兵庫県森林組合連合会を通じて兵庫県内の森林環境を維持するために活用されます。



地域のお客さまへ

社会貢献活動

東日本大震災への対応

被災地支援ボランティア活動への参加

平成23年8月、三井住友フィナンシャルグループが行っている被災地支援ボランティア活動へ当行行員が参加し、石巻市で写真の洗浄作業などにたずさわりました。

なお、当行は、行員のボランティア活動を支援するため「ボランティア休暇制度」を新設しました。



東日本大震災への対応

ATM他行キャッシュカード ご利用手数料の無料化

被災地域に本店を有する地方銀行及び第二地方銀行*のキャッシュカードを使用して、みなと銀行のATMよりご出金される際のATM利用手数料の無料化を実施しています。

●実施期間:平成23年5月1日～平成25年3月31日

平日の8:00-8:45、18:00-21:00

土・日・祝日・年末の9:00-17:00に

ご利用いただく場合の利用手数料(別途105円)も無料。

* 対象銀行

銀行名	本店所在地	銀行名	本店所在地
岩手銀行	岩手県盛岡市	大東銀行	福島県郡山市
北日本銀行	岩手県盛岡市	東邦銀行	福島県福島市
東北銀行	岩手県盛岡市	福島銀行	福島県福島市
七十七銀行	宮城県仙台市	きらやか銀行	山形県山形市
仙台銀行	宮城県仙台市	荘内銀行	山形県鶴岡市
常陽銀行	茨城県水戸市	山形銀行	山形県山形市

環境負荷低減

「サマータイム」(夏季時差出勤)の実施

みなと銀行は、昨年に続き、夏の節電対策の一環として、「サマータイム」(夏季時差出勤)を実施いたします。

引続き業務運営の効率化(生産性の向上)に取り組むとともに、「サマータイム」を実施することにより、日々の退社時刻を早めることを推進し、冷房や照明などに係る使用電力の削減を図ってまいります。

・実施期間 平成24年8月1日～8月30日予定

スポーツ振興

「第2回神戸マラソン」への協賛

平成24年11月25日に開催される「第2回神戸マラソン」(主催:兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、兵庫陸上競技協会)に、昨年に引続き女子ゼッケンスポンサーとして協賛します。



就職活動支援

「みなと就職応援イベント in HYOGO」の開催

平成24年5月、みなと銀行のほか兵庫県内の企業8社に加え、今年は兵庫県・神戸市が新たに参加し、学生との出会いの場を提供する合同企業説明会「みなと就職応援イベント in HYOGO」を昨年に続いて開催しました。

当日は、来春卒業予定者など約650名が来場し、会場は大勢の方で賑わいました。



個別・連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表

(単位:百万円)

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

■資産の部

現金預け金	38,738
コールローン	13,502
買現先勘定	5,000
商品有価証券	533
有価証券	774,881
貸出金	2,188,480
外国為替	4,453
その他資産	16,129
有形固定資産	35,799
無形固定資産	5,194
繰延税金資産	11,612
支払承諾見返	14,238
貸倒引当金	△29,614
資産の部合計	3,078,950

■負債の部

預金	2,773,775
譲渡性預金	52,713
債券貸借取引受入担保金	60,114
借入金	28,775
外国為替	99
社債	28,000
その他負債	10,899
賞与引当金	864
退職給付引当金	4,718
役員退職慰労引当金	187
睡眠預金払戻損失引当金	622
支払承諾	14,238
負債の部合計	2,975,010

■純資産の部

資本金	27,484
資本剰余金	49,495
資本準備金	27,430
その他資本剰余金	22,065
利益剰余金	24,608
利益準備金	53
その他利益剰余金	24,555
別途積立金	2,325
繰越利益剰余金	22,230
自己株式	△949
株主資本合計	100,639
その他有価証券評価差額金	3,300
評価・換算差額等合計	3,300
純資産の部合計	103,940
負債及び純資産の部合計	3,078,950

損益計算書

(自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日)

経常収益	58,420
資金運用収益	43,168
(うち貸出金利息)	37,068
(うち有価証券利息配当金)	5,419
役員取引等収益	10,193
その他業務収益	3,563
その他経常収益	1,495
経常費用	48,547
資金調達費用	3,679
(うち預金利息)	1,840
役員取引等費用	3,815
その他業務費用	343
営業経費	34,023
その他経常費用	6,685
経常利益	9,873
特別損失	533
税引前当期純利益	9,339
法人税、住民税及び事業税	2,459
法人税等調整額	473
法人税等合計	2,933
当期純利益	6,406

連結財務諸表

連結貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

■資産の部

現金預け金	38,747
コールローン及び買入手形	13,502
買現先勘定	5,000
買入金銭債権	4,367
商品有価証券	533
有価証券	771,262
貸出金	2,179,264
外国為替	4,453
リース債権及びリース投資資産	8,832
その他資産	27,343
有形固定資産	35,954
無形固定資産	5,205
繰延税金資産	11,997
支払承諾見返	14,559
貸倒引当金	△31,674
資産の部合計	3,089,349

■負債の部

預金	2,770,803
譲渡性預金	48,713
債券貸借取引受入担保金	60,114
借入金	18,575
外国為替	99
社債	28,000
その他負債	23,654
賞与引当金	958
退職給付引当金	4,832
役員退職慰労引当金	244
睡眠預金払戻損失引当金	622
繰延税金負債	34
支払承諾	14,559
負債の部合計	2,971,212

■純資産の部

資本金	27,484
資本剰余金	49,495
利益剰余金	27,948
自己株式	△949
株主資本合計	103,979
その他有価証券評価差額金	3,442
その他の包括利益累計額合計	3,442
少数株主持分	10,715
純資産の部合計	118,137
負債及び純資産の部合計	3,089,349

連結損益計算書

(自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日)

経常収益	65,256
資金運用収益	43,986
(うち貸出金利息)	37,395
(うち有価証券利息配当金)	5,433
役員取引等収益	12,105
その他業務収益	7,691
その他経常収益	1,473
経常費用	52,934
資金調達費用	3,128
(うち預金利息)	1,839
役員取引等費用	3,132
その他業務費用	4,114
営業経費	35,713
その他経常費用	6,846
経常利益	12,321
特別損失	533
税金等調整前当期純利益	11,788
法人税、住民税及び事業税	2,978
法人税等調整額	535
法人税等合計	3,513
少数株主損益調整前当期純利益	8,274
少数株主利益	557
当期純利益	7,717

連結包括利益計算書

(自 平成23年4月 1日
至 平成24年3月31日)

少数株主損益調整前当期純利益	8,274
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	773
繰延ヘッジ損益	△52
その他の包括利益合計	721
包括利益	8,996
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	8,420
少数株主に係る包括利益	576

株式の状況

(平成24年3月31日現在)

●発行済株式数 410,940千株 ●株主数 9,168人

大株主

(平成24年3月31日現在)

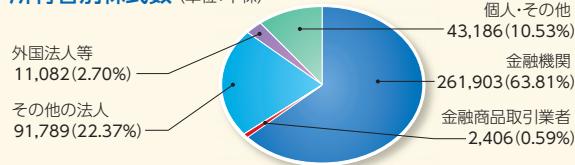
株主名	株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	184,828	45.03
みなと銀行共栄会	27,825	6.78
日本生命保険相互会社	12,001	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,630	2.83
みなと銀行従業員持株会	8,255	2.01
株式会社三井住友銀行信託口	6,123	1.49
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,661	1.37
三井住友海上火災保険株式会社	5,220	1.27
住友生命保険相互会社	5,203	1.26
東京海上日動火災保険株式会社	3,840	0.93

(注) 1. 株式会社三井住友銀行の株数には、同行が退職給付信託の信託財産として提出し、議決権行使の指図権を留保している当行株式165,500千株(持株比率40.32%)を含んでおります。なお、株主名簿上の名義は「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(中央三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)」であります。
2. 上記の株式会社三井住友銀行信託口は、「従業員持株会連携型ESOP」導入に伴い、設定された信託であります。なお、当該株式は財務諸表上、自己株式として処理しております。
3. 持株比率は自己株式(6,689千株)のうち、従業員持株会信託口所有自己株式(6,123千株)を除く、当行所有自己株式(566千株)を控除して計算しております。

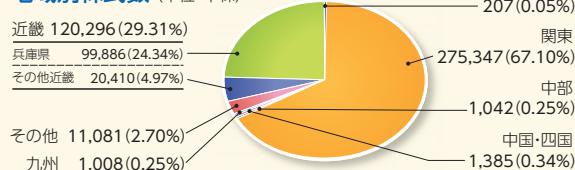
単元株式の分布状況

(平成24年3月31日現在)

所有者別株式数 (単位:千株)



地域別株式数 (単位:千株)



株式のご案内

●決算期 毎年3月31日

●定時株主総会 毎年4月1日から3か月以内に開催します。

●単元株式数 1,000株

●配当金受領株主確定日

3月31日および中間配当を行うときは9月30日といたします。

*配当金のお受け取りは、みなと銀行の預金口座振込をご利用いただけますと早く便利です。

●基準日

定時株主総会 毎年3月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

●公告方法

電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、神戸新聞および日本経済新聞に掲載します。

URL <http://www.minatobk.co.jp>

●株式上場市場

東京証券取引所 市場第一部

大阪証券取引所 市場第一部

●株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

●同連絡先

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話0120-176-417(通話料無料)

●特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

●同連絡先

〒541-0044 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなっております。口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。株主名簿管理人である三井住友信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金のお支払につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

株主優待制度について

平成23年7月1日に、株主の皆さまからの日頃のご支援への感謝とともに、当行株式の魅力を高め、より多くの方々に中長期的に保有していただけるよう、株主優待定期預金の取扱いを開始しました。さらに24年7月2日よりお預け入れ金額の上限を100万円から300万円に上げました。

●商品概要

商品名	株主優待定期預金(スーパー定期)
ご利用対象者	平成24年3月末時点で 当行株1,000株以上保有の個人株主さま
お取扱期間	平成24年7月2日から 平成25年6月28日までの1年間
お預け入れ期間	1年
お預け入れ金額	10万円以上300万円以下
適用金利	店頭表示金利+0.3% 満期日前に中途解約された場合は、 当行所定の中途解約利率を適用
その他	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年6月末、対象の株主さまへ郵送する「株主優待定期預金クーポン」と引換えに本定期預金のお預け入れを受付 クーポンの第三者への譲渡は不可 海岸通支店、神戸ポート支店、住宅ローンプラザを除く営業店窓口のみで取扱い 満期日以降は満期日の店頭表示金利(1年もの)にて自動継続

役員一覧

(平成24年6月28日現在)

※取締役頭取(代表取締役)	尾野 俊二
※専務取締役(代表取締役)	後藤 盛次
※常務取締役	貞苺 茂
※常務取締役	安国 尚史
※常務取締役	木村 真也
※常務取締役	近藤 智彦
取締役(社外役員)	太田 敏郎
常勤監査役	須方 輝
常勤監査役	菊池 正八州
監査役(社外役員)	岡田 信吾
監査役(社外役員)	渡邊 勝幸
監査役(社外役員)	大麻 博範
常務執行役員	梶谷 静也
執行役員	宮坂 利影
執行役員	森本 剛
執行役員	岸本 芳久
執行役員	西村 隆嗣
執行役員	中井 基夫
執行役員	園尾 善雄
執行役員	植田 一夫
執行役員	難波 克吉
執行役員	徳田 幾久
執行役員	村上 卓史
執行役員	岸本 敏彦

※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

主要な連結子会社

(平成24年6月28日現在)

名称	主要な事業の内容
みなとビジネスサービス(株)	事務処理代行業務他
みなとアセットリサーチ(株)*1	不動産・動産の調査業務
みなと保証(株)	信用保証業務
みなとリース(株)	リース業務、ファクタリング業務他
(株)みなとカード	クレジットカード業務他
みなとシステム(株)	コンピュータ関連業務他
みなとキャピタル(株)	投資業務、経営相談業務他
みなとコンサルティング(株)*2	セミナー・研修会運営、経営相談業務他

*1 みなとアセットリサーチ(株)は、24年4月1日に、みなとモーゲージサービス(株)から社名を変更いたしました。

*2 みなとコンサルティング(株)は、24年6月28日に、新規設立いたしました。

店舗MAP (平成24年6月1日現在)

主要営業エリアである兵庫県を中心に107か店を有し、兵庫県下最大規模の店舗ネットワークを展開しています。

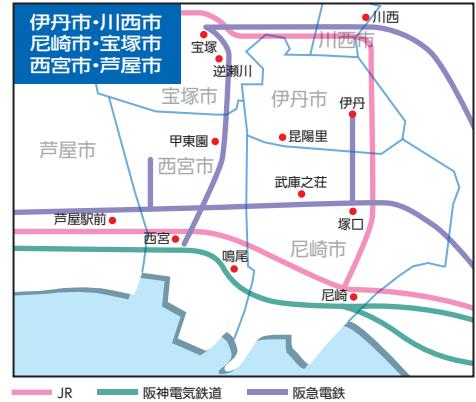
エリア	店舗数*
兵庫県	102か店
うち神戸市	42か店
大阪府・東京都	5か店
合計	107か店

*西神・三宮・塚口・梅田の各住宅ローンプラザ、非対面式個人ローン専門店(神戸ポート支店)、非対面式インターネット・テレフォン専門店(海岸通支店)を含みます。



住宅ローンプラザ

店舗名	
姫路 住宅ローンプラザ	藤原台 住宅ローンプラザ
加古川 住宅ローンプラザ	三宮 住宅ローンプラザ
西明石 住宅ローンプラザ	西宮 住宅ローンプラザ
西神 住宅ローンプラザ	塚口 住宅ローンプラザ
舞子 住宅ローンプラザ	梅田 住宅ローンプラザ



海外店舗

名称
上海駐在員事務所 (日本美納都銀行股份有限公司 上海代表処)



※表紙の写真は、左は帆船 日本丸。右は、上よりコウノトリ、神戸港、風見鶏の館、姫路城(姫路市提供)、明石海峡大橋(本州四国連絡高速道路株式会社提供)。